



Title	大阪大学医学部保健学科の紹介 : 創設のあゆみ
Author(s)	山地, 建二
Citation	大阪大学看護学雑誌. 1995, 1(1), p. 50-52
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/56834">https://doi.org/10.18910/56834</a>
rights	©大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 大阪大学医学部保健学科の紹介

### I 概 要 (英文)

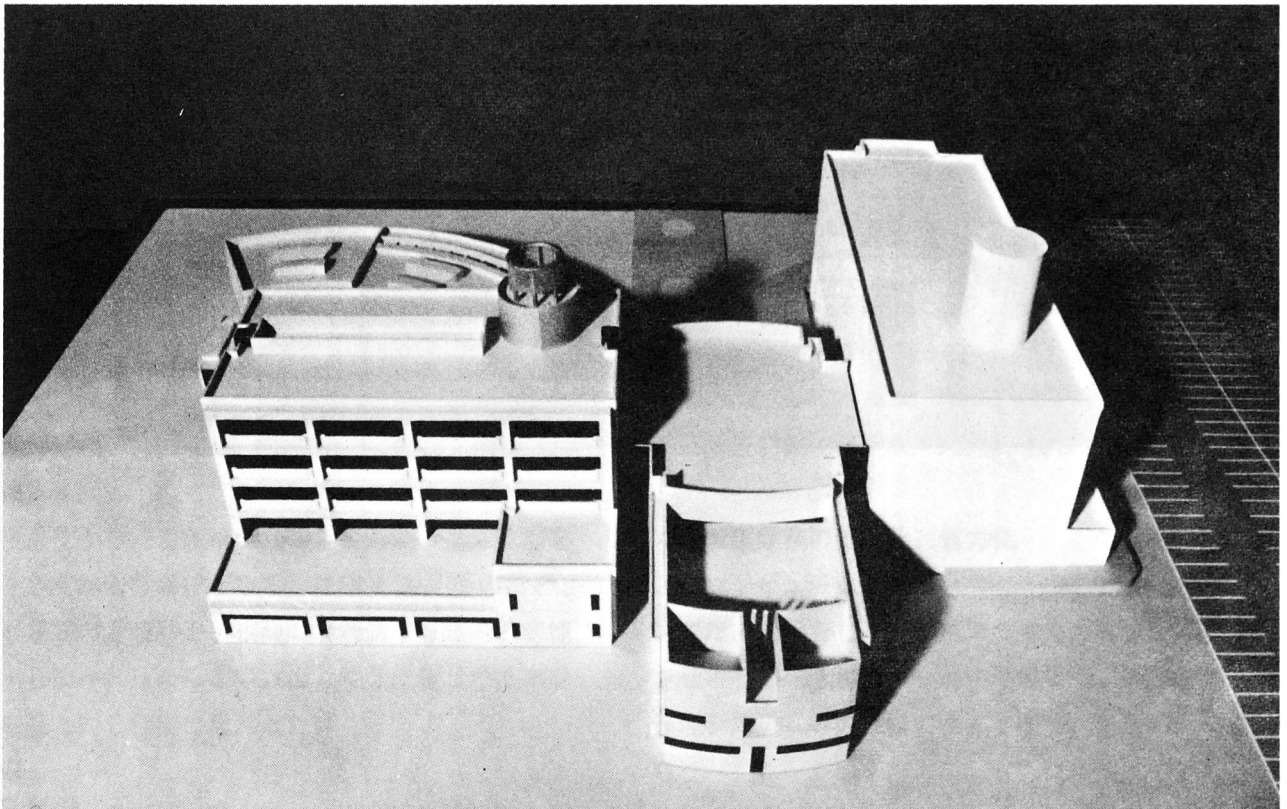
The School of Allied Health Sciences, founded in 1993 as a consisting part of the Faculty of Medicine, engages in education and research in the allied health sciences. The School offers programs of scientific and professional education and training leading to the degree of Baccalaureate in Nursing, in Radiological Technology and Biomedical Engineering, and in Laboratory Sciences.

The objectives of the Baccalaureate Program are 1) to provide the students with scientific basis in the health sciences for research and application, 2) to lay the foundation for their respective careers as professionals in the public health services, 3) to cultivate understanding of interprofessional teamwork for total patient care, 4) to foster high principles of ethical standards, of basic human needs and respect for the dignity of man.

The School strives to produce highly trained health care professionals, qualified to assume leading roles in their respective fields and, furthermore, proficiency in the areas of academic and clinical instruction, supervision and administration.

Learning is our mission and for this, the School is comprised of outstanding academic staff with modern facilities. The faculties have responsibility for producing the first-rate researchers as well in conjunction with medical and health care sciences. They are expected to play an important role in the international cooperation in medical care of the developing countries.

The School of Allied Health Sciences is a new school which looks forward to further strengthening its position as unique institution in medical and health care science in Japan.



西側より見る

## Ⅱ 創設のあゆみ

年	事 項
昭和42年 (1967年)	大阪大学に全国に先駆けて医療技術短期大学部が併設される。
昭和52年 (1977年)	大阪大学に総長を委員長とする全学的な医療科学部設置準備委員会が組織される。
昭和58年 (1983年)	文部省より昭和57年度短期大学教育方法等改善経費の配分を受け、調査・研究成果を「医療技術(看護学)における卒業研修のための教育方法等の調査研究」として報告する。
昭和60年 (1985年)	文部省より昭和59年度短期大学教育方法等改善経費の配分を受け、調査・研究成果を「医療技術(看護学)の卒業教育(生涯教育)のための教育方法等の研究」として報告する。
平成元年 (1989年)	文部省より昭和63年度短期大学教育方法等改善経費の配分を受け、調査・研究成果を「医科学・医療の進歩に呼応する新しい医療関連科学技術の教育・研究のあり方について」として報告する。
平成2年 (1990年)	文部省より平成元年度短期大学教育方法等改善経費の配分を受け、調査・研究成果を「新しい医療関連科学技術の教育・研究」として報告する。
平成3年 (1991年)	文部省より平成2年度短期大学教育方法等改善経費の配分を受け、調査・研究成果を「新しい医療関連科学技術の卒前・卒業教育の関連について」として報告する。
平成4年 (1992年)	文部省より平成3年度医学部等改革調査研究経費の配分を受け、調査・研究成果を「新たに医療技術者の高度化を図るための学部レベルでの教育研究組織設置の在り方」として報告する。
平成5年 (1993年)	文部省より平成4年度医学部等改革調査研究経費の配分を受け、調査・研究成果を「新たに医療技術者の高度化を図るための学部レベルでの教育研究組織設置の在り方(2)」として報告する。  大阪大学に医学部保健学科が設置される(10月1日)。
平成6年 (1994年)	大阪大学医学部保健学科第1期生を受け入れる。  大阪大学医学部保健学科設置記念式典が挙行される(4月21日)。
平成7年 (1995年)	大阪大学医学部保健学科校舎新営その他工事 工事安全祈願祭が催される(2月28日)。

### Ⅲ 看護学専攻講座

講座	職名	氏名(学位)	担当授業科目	研究テーマ
基礎看護学	教授	松木光子 (医学博士)	看護学概論、医療科学総論、基礎看護学実習	看護実践モデルの研究、癌看護の研究
	教授	小笠原知枝 (教育学修士)	臨床心理学、基礎看護技術論、健康生活科学論、基礎看護学実習、特別研究	看護教育方法の研究、健康認識に関する研究、痛みに関する研究
	教授	大野ゆう子 (医学博士)	健康生活科学論、看護学概論、基礎看護学実習、特別研究	看護情報に関する研究
	助教授	阿曾洋子 (社会福祉学士)	地域看護活動論Ⅱ、基礎看護技術論、基礎看護技術演習、基礎看護学実習	病床環境に関する患者への看護ケア
	助手	田中結華 (社会学士)	基礎看護学実習	高齢者の褥瘡予防
	助手	久米弥寿子 (看護学修士)	基礎看護学実習	癌看護の研究
母性・小児看護学	教授	山地建二 (医学博士)	生殖生理学、母性臨床医学、周産期生理病態学Ⅰ・Ⅱ	周産期における臨床生化学的研究
	教授	鈴木敦子 (文学修士)	小児看護学概論、育児援助論、小児看護学実習	児童虐待に関する研究
	教授	原田徳蔵 (医学博士)	病態生理学、薬物薬理学、病態学、小児臨床医学	小児栄養・消化器・内分泌学的研究
	教授	高木洋司 (医学博士)	成人臨床医学Ⅰ・臨床栄養学	外科栄養に関する研究
	講師	小山田浩子 (衛生看護学士)	母性看護学概論・母性臨床看護学Ⅰ・Ⅱ、母性看護学実習Ⅰ・Ⅱ	母子相互作用に影響を及ぼす因子に関する研究
	講師	堀井理司 (看護学修士)	小児臨床看護学、基礎看護技術演習、小児看護学実習	小児看護における感染管理、看護における感染管理
	助手	鎌田佳奈美 (文学士)	小児看護学実習	患児をもつ母親の不安、長期IVH施行患児への影響
助手	中嶋有加里 (文学士)	母性看護学実習Ⅰ・Ⅱ	母子保健に関する行動・心理的研究	
成人・老人看護学	教授	渡邊信一郎 (医学博士)	病態生理学、薬物薬理学、基礎免疫学、臨床免疫学Ⅱ、臨床医学序説	免疫抑制機序に関する研究、老人性痴呆の予知・予防の可能性について
	教授	石本章子 (看護学修士)	成人看護学概論、救急看護、成人看護学実習、老人看護学実習、特別研究	救急看護
	教授	江川隆子 (看護学修士)	看護実践論、看護診断学、成人臨床看護学Ⅰ、成人看護学実習、老人看護学実習、特別研究	糖尿病患者に対する保健指導
	教授	荻野敏 (医学博士)	臨床医学序説、病態生理学、病態学、成人臨床医学Ⅱ	耳鼻科領域の免疫アレルギー疾患・特に鼻アレルギー、慢性疾患の漢方療法
	助教授	丸橋佐和子 (文学士)	成人臨床看護学Ⅱ・Ⅲ、老人臨床看護学、老人介護論、成人看護学実習、老人看護学実習	看護教育における臨床実習、臨床と在宅看護の継続性
	助教授	城戸良弘 (医学博士)	生体形態学、臨床栄養学、病態形態学、生体分析学、救急医学概論	患者の安静度決定のための基礎的研究、術後せん妄発生機序の解明とその予防
	助手	大谷英子 (学術修士)	成人看護学実習、老人看護学実習	食道癌における術後精神障害に関する研究、若者の老人イメージ
	助手	山本裕子 (看護学修士)	成人看護学実習、老人看護学実習	慢性疾患患者のセルフケアへの援助
地域看護学	教授	早川和生 (医学博士)	保健統計学、厚生行政論、地域看護学概論、公衆衛生学概論、地域看護学実習Ⅰ・Ⅱ、特別研究	地域保健、予防健康看護学、看護活動システム論、環境保健、老人・成人病予防の研究、多胎家庭への支援行政の研究
	教授	三上洋 (医学博士)	老人臨床医学、QOL看護論、地域保健医療論、精神保健医療学	高血圧症の臨床、老年医学、老年臨床薬理、老年循環器疾患におけるQOL評価
	教授	土肥義胤 (医学博士)	病原微生物学、疫学、微生物学実習、臨床微生物学、臨床微生物学実習	感染防御機構の研究、抗腫瘍性分子の生体内発現による腫瘍の排除
	助教授	上原ます子 (学術修士)	地域看護技術演習、地域看護活動論Ⅰ、地域保健管理論Ⅰ、地域看護学実習Ⅰ・Ⅱ	高齢者の家族に関する研究

(文責：山地建二)